

女性医師の現状に関する調査結果

平成24年11月実施
回答数 214名

1 年齢

選択肢	回答数	構成比
29歳以下	59	28%
30～39歳	103	48%
40～49歳	35	16%
50～59歳	13	6%
60～69歳	2	1%
70歳以上	1	0%
無回答	1	0%
合計	214	

2 現在の専門

選択肢	回答数	構成比
内科	51	24%
外科	7	3%
小児科	15	7%
産婦人科	10	5%
脳神経外科	1	0%
麻酔科	20	9%
眼科	11	5%
皮膚科	15	7%
泌尿器科	1	0%
耳鼻咽喉科	11	5%
整形外科	2	1%
精神科	3	1%
放射線科	9	4%
救急科	2	1%
研修医	30	14%
その他	26	12%
無回答	0	0%
合計	214	

その他

	回答数	構成比
形成外科	6	23%
病理診断科	5	19%
歯科口腔外科	4	15%
神経内科	2	8%
健診科	2	8%
集中治療部	1	4%
基礎医学	1	4%
産業医、公衆衛生	1	4%
緩和ケア	1	4%
歯科	1	4%
無回答	2	8%
合計	26	

3 勤務形態

選択肢	回答数	構成比
常勤（1病院週5日以上勤務）	171	80%
非常勤（1病院週5日未満勤務）	36	17%
その他	1	0%
無回答	3	1%
無効回答	3	1%
合計	214	

常勤

一日○時間週○日勤務	回答数	構成比
5時間5日	1	1%
6時間5日	1	1%
7時間5日	3	2%
7時間6日	2	1%
7.5時間	1	1%
7.5時間6日	1	1%
8時間4日	2	1%
8時間5日	60	34%
8時間5.5日	3	2%
8時間6日	7	4%
8.5時間5日	6	3%
8.5時間6日	1	1%
8～9時間5日	1	1%
8～9時間5～6日	1	1%
8 + α時間6日	1	1%
9時間5日	20	11%
9時間6日	4	2%
10時間5日	9	5%
10時間5.5日	2	1%
10時間6日	4	2%
11時間5日	2	1%
11時間5～6日	1	1%
11時間6日	2	1%
12時間5日	7	4%
12時間6日	5	3%
12時間7日	2	1%
13時間5日	1	1%
13時間5.5日	1	1%
13時間6日	1	1%
13時間6～7日	1	1%
14時間6日	1	1%
14時間7日	1	1%
15時間7日	2	1%
14～16時間7日	1	1%
時間不明5日	3	2%
時間不明6日	1	1%
無回答	9	5%
無効回答	3	2%
合計	174	

非常勤

一日〇時間週〇日勤務	回答数	構成比
4時間1日	1	3%
4時間2日	1	3%
4時間3日	1	3%
4時間4日	1	3%
4～6時間5日	1	3%
4～8時間3日	1	3%
6時間2日	1	3%
6時間3日	1	3%
6～8時間5～6日	1	3%
7～8時間5日	1	3%
8時間4日	3	8%
8時間5日	2	5%
9時間5日	5	13%
10時間3日	1	3%
3時間1日、3時間2日	1	3%
3.5時間1日、4.5時間1日	1	3%
4時間2日、4時間1日	1	3%
4時間4日、4時間1日	1	3%
5時間4日、5時間1日	1	3%
8時間2日、2～3時間3日	1	3%
9時間4日、8時間1日	1	3%
4時間3日、4時間2日、4時間1日	1	3%
7時間2日、4時間1日、4時間1日	1	3%
7時間2.5日、4時間1日、4時間1日	1	3%
8時間3日、8時間1日、8時間1日	2	5%
8時間5日、2時間1日、2時間1日	1	3%
無回答	2	5%
無効回答	3	8%
合計	39	

〇非常勤の理由

家事、育児を両立して行うため（6名）
研修医のため（4名）
医局の人事（2名）
出産を機会に非常勤になり、その後常勤に戻れず
医員のため
派遣医師のため
大学院在籍中のため
外来勤務のみ
子供が小さく勤務時間を短く働きたいため
子供が小さく、また病気の際に頼れる祖父母が遠方在住のため
子供が小さく夜勤と当直が困難なため
時間に余裕が持てる点
育休中
年齢
体調
家庭の事情
開業医だから。クリニックが休診日にアルバイトとして非常勤をしている。
不明（2名）
無回答（8名）

○将来希望する勤務形態

選択肢	回答数	構成比
常勤	18	46%
非常勤（現状のまま）	10	26%
非常勤（現状とは異なる形態）	2	5%
仕事をしない	1	3%
その他	1	3%
無回答	4	10%
無効回答	3	8%
合計	39	

常勤が可能な条件

子供が離乳できれば
子供が成長したら
もう少し子供から手が離れたら
子供ができたら週休2日で9時～15時まで等の拘束にしてほしい
職場が自宅から近い、子供が成長する
経験年数を積みばいい
専門医取得、医局人事
経験、学位など取れば
特になし（2名）
無回答（8名）

現状とは異なる非常勤の形態

当直なし
時短勤務

その他

開業

4 月のお休み

選択肢	回答数	構成比
4週4休	42	20%
4週6休	34	16%
4週8休（週休2日制）	93	43%
その他	36	17%
無回答	7	3%
無効回答	2	1%
合計	214	

その他の内容

4週5休（4名）
ほぼ休みなし（2名）
4週2休
4週2.5～3休
4週3休
4週8休のうち1休は救急日直
週休2日だが休日の当直が月に1回ある
4週12休
適当
患者がいなければ
科による
土日午後
土日、外勤のある日以外は病院に行く
月、水、金、土が日勤または月、金が日勤で水曜が遅番のいずれかで働いており、それ以外は休み
完全休日なし、日曜日午後2時まで
4週5休となっているが、週末に当直等が入れば休みが減る
4週6休だが取れていない
規則上は4週8休だが、病棟業務の為実質週7日労働
完全な休みなし（土、日は半日程度）
土日、祝日のほとんどはガーゼ交換の為休日がほとんどない
無休（3名）
育休中
無回答（8名）

5 お子さんの数

選択肢	回答数	構成比
いない	132	62%
いる	82	38%
無回答	0	0%
合計	214	

○年齢層と人数

	回答数
0歳児1人	14
小計	14
未就学児1人	28
未就学児2人	9
未就学児3人	1
小計	38
小学生1人	13
小学生2人	7
小計	20
中学生1人	9
中学生2人	1
小計	10
高校生1人	9
小計	9
大学生以上1人	6
大学生以上2人	3
大学生以上3人	4
小計	13

お子さんの数の内訳

	回答数	構成比
1人	40	49%
2人	25	30%
3人	12	15%
4人	2	2%
無回答	3	4%
合計	82	

1人の内訳

	回答数	構成比
0歳児	9	23%
未就学児	20	50%
小学生	5	13%
中学生	1	3%
高校生	1	3%
大学生以上	4	10%
合計	40	

2人の内訳

	回答数	構成比
0歳児1人、未就学児1人	4	16%
未就学児2人	7	28%
未就学児1人、小学生1人	1	4%
小学生2人	3	12%
小学生1人、中学生1人	2	8%
小学生1人、高校生1人	1	4%
中学生1人、高校生1人	3	12%
中学生1人、大学生以上1人	1	4%
高校生1人、大学生以上1人	1	4%
大学生以上2人	2	8%
合計	25	

3人の内訳

	回答数	構成比
0歳児1人、未就学児1人、小学生1人	1	8%
未就学児3人	1	8%
未就学児2人、小学生1人	1	8%
未就学児1人、小学生2人	2	17%
小学生1人、中学生1人、高校生1人	1	8%
小学生2人、中学生1人	1	8%
小学生1人、大学生以上2人	1	8%
中学生2人、高校生1人	1	8%
大学生以上3人	3	25%
合計	12	

4人の内訳

	回答数	構成比
高校生1人、大学生以上3人	1	50%
未就学児2人、小学生2人	1	50%
合計	2	

○病気や予定外の保育が必要な時の対応

選択肢	回答数	構成比
預ける	72	75%
仕事を休む	11	11%
その他	13	14%
無回答	0	0%
合計	96	

預ける場合

	回答数	構成比
病児保育	40	41%
祖父母	17	17%
実母	13	13%
義母	8	8%
ベビーシッター	4	4%
実家の親	3	3%
保育園	3	3%
夫	2	2%
ファミリーサポートセンター	1	1%
夫の親	1	1%
近所の家	1	1%
知人	1	1%
保育園学童延長保育、自活	1	1%
義姉	1	1%
お手伝いさん	1	1%
無回答	1	1%
合計	98	

その他

病児保育（3名）
学童保育
子供を家においておく
夫が仕事を早退する
母か夫がみる
両親と同居のため親に頼んでいる。
病児保育が空いていなければベビーカーに寝かせて救急外来で仕事をしながら面倒を見て次の勤務のドクターが来るのを待
勤務先へ連れて行き、医局の自分の机で待たせた。夫の勤務先へ連れて行ってもらい、仕事の横で待たせた。
勤務先に連れて行くことはまれにあった。
遠方の両親に来てもらう、配偶者の職場で寝かせておく。
育休中

○緊急呼び出しの時の対応

選択肢	回答数	構成比
預ける	37	42%
断る	8	9%
その他	37	42%
無回答	6	7%
合計	88	

預ける場合

	回答数	構成比
夫	14	29%
祖父母	13	27%
実母	9	18%
義母	6	12%
知人	2	4%
ファミリーサポートセンター	1	2%
お手伝いさん	1	2%
病院当直事務	1	2%
無回答	2	4%
合計	49	

その他

連れて行く（9名）
緊急呼び出しなし（6名）
家で留守番させる（4名）
仕事を早退し迎えに行く（2名）
緊急呼び出しは他のドクターにお願いしている（2名）
夫が仕事を早退する
子供達だけのことも多かった
母か夫がみる
両親と同居のため親に頼んでいる
家族の中で都合をつけていた
預け先の都合がつけば出勤し、無理な時は断る
夫がいれば夫に頼む。夫がいない時は、どうしても病院に行かなければならない場合で夜間ならやむを得ず連れて行く。
事前に都合の悪い日時を伝えておく。それ以外は可能な限り対応する。
保育所で子供がケガをした時、先生がタクシーで整形外科に連れて行って下さいました。発熱の呼び出しの時は、なるべく早く迎えに行くようにしています。
夫がいる時は夫、夫不在の時は断ったことがあります。長女が小学校に上がったからは子供だけ残して呼び出しに応じたことがあります。
緊急呼び出しにならないよう対応していた
配慮されて呼び出しはなかった

○学童保育の利用

選択肢	回答数	構成比
利用している	30	37%
利用していない	31	38%
無回答	21	26%
合計	82	

利用していない理由

未就学児のため（6名）
母にみてもらう（3名）
実家に預けていた
下校後、義父母宅へ
近くに学童保育がなかったため、主人の実家に預けていた
両親同居のため
祖父が在宅のため
非常勤なので家にいることができた
子供が嫌がったため
保育園利用
育休中

○子育て中の希望した働き方

選択肢	回答数	構成比
変化なし	18	16%
日数減（週 日勤務）	18	16%
休職	5	4%
時間短縮勤務（1日 時間勤務）	25	22%
業務内容軽減	38	34%
その他	6	5%
無回答	3	3%
合計	113	

日数減

（週 日勤務）	回答数	構成比
週 2 日	2	2%
週 2～4 日	1	1%
週 3 日	5	4%
週 3～4 日	2	2%
週 4 日	4	4%
週 5 日	1	1%
無回答	3	3%
合計	18	

時間短縮勤務

（1日 時間勤務）	回答数	構成比
2.5～3 時間	1	4%
3 時間	1	4%
4 時間	3	12%
4～5 時間	1	4%
4～6 時間	1	4%
5 時間	2	8%
6 時間	5	20%
7 時間	2	8%
8 時間	1	4%
無回答	8	32%
合計	25	

業務内容軽減の内容

	回答数	構成比
当直免除	13	34%
当直、病棟業務免除	3	8%
日当直免除	2	5%
当直、時間外勤務免除	2	5%
当直、オンコールの免除	2	5%
当直と休日出勤、オンコールの免除	1	3%
夜間、土日の当直・宿直免除	1	3%
宿直免除、休日日直はOKで	1	3%
当直免除あるいは軽減	1	3%
当直回数を減らす（月 2 回程度）	1	3%
時間外のカンファレンス等免除	1	3%
定時帰宅	1	3%
病棟フリー	1	3%
健診業務	1	3%
土日の日中の日直はできるが、予定外の緊急呼出しを控える→チーム対応	1	3%
非正規等	1	3%
無回答	5	13%
合計	38	

その他

4週6休
業務時間を8:00～17:00勤務に
育休（産休）1年
半年程度の育休とその後の通常勤務
通常勤務を希望したがさせていただけず

○子育て中の働き方

選択肢	回答数	構成比
変化なし	33	30%
日数減（週 日勤務）	16	14%
休職	5	5%
時間短縮勤務（1日 時間勤務）	17	15%
業務内容軽減	30	27%
その他	8	7%
無回答	2	2%
合計	111	

日数減

（週 日勤務）	回答数	構成比
週 2 日	1	6%
週 2～5 日	1	6%
週 3 日	5	31%
週 3～4 日	1	6%
週 4 日	4	25%
週 5 日	2	13%
無回答	2	13%
合計	16	

時間短縮勤務

（1日 時間勤務）	回答数	構成比
2.5～3 時間	1	6%
4 時間	4	24%
4～8 時間	1	6%
5 時間	2	12%
5～6 時間	1	6%
6 時間	3	18%
7 時間	1	6%
無回答	4	24%
合計	17	

業務内容軽減の内容

	回答数	構成比
当直免除	12	40%
当直、病棟業務免除	3	10%
当直、病棟業務免除	2	7%
当直、時間外勤務なし	1	3%
当直、休日出勤、オンコールの免除	1	3%
オンコール、当直免除	1	3%
当直、入院主治医、時間外勤務免除	1	3%
当直免除、オンコールはあり（8回/日）	1	3%
夜間、土日の当直・宿直免除	1	3%
親の協力が得られるまでは4週6休、得られてからは当直も	1	3%
土日の日中の日直はできるが、予定外の緊急呼出しを控える→チーム対応	1	3%
非正規等	1	3%
無回答	4	13%
合計	30	

その他

産休、育休
大学以外の当直免除

希望した働き方と実際の働き方が異なる場合

一月復帰で保育園に入園できず、実母に預けることになり、実母の都合で週5日勤務が難しかったため。

医局から毎日働いてほしいと言ったから。これ以上勤務時間を増やしてもあまり収入が変わらないため。

仕事量が多くて帰れない

病棟なし

上司が気を遣って免除を申し出てくださった

子供の成長と共に、段々増えてきた

休めなかった

希望した勤務形態が実際には存在しなかったため

病院の都合

勤務先が数回変わり、その都度勤務先の状況に合わせなくては
いけなかった(現在も)病院勤務で定時に帰宅できるはずがな

職場の雰囲気が求職を言い出せない雰囲気だった。

補充医師不在のため

6 時間外勤務について

選択肢	回答数	構成比
なし（定時で帰宅できる）	57	27%
あり	156	73%
無回答	1	0%
合計	214	

ありの場合

1日平均（ ）時間、週平均（ ）日程度	回答数	構成比
0.5～1時間、たまに	1	1%
1時間	1	1%
1時間、1日	3	2%
1時間、2日	1	1%
1時間、2～3日	1	1%
1時間、3～4日	1	1%
1時間、5日	3	2%
1.5時間、5日	1	1%
1.5時間、6日	1	1%
1.5～2時間	1	1%
1～2時間	2	1%
1～2時間、1日	1	1%
1～2時間、1～2日	1	1%
1～2時間、5日	3	2%
2時間	2	1%
2時間、1日	4	3%
2時間、2日	3	2%
2時間、3日	4	3%
2時間、4日	4	3%
2時間、5日	13	8%
2時間、6日	1	1%
2時間、7日	2	1%
2時間、8日	1	1%
2時間、10日	1	1%
2～3時間	1	1%
2～3時間、1～2日	1	1%
2～3時間、2日	1	1%
2～3時間、3日	1	1%
2～3時間、5日	2	1%
3時間	2	1%
3時間、1日	1	1%
3時間、2日	1	1%
3時間、3日	7	4%
3時間、4日	5	3%
3時間、4～5日	1	1%
3時間、5日	13	8%
3時間、7日	3	2%
3時間、18日	1	1%
3時間、毎日	1	1%
3～4時間、1日	1	1%
3～4時間、4～5日	1	1%
4時間	1	1%
4時間、1.5日	1	1%
4時間、3日	2	1%
4時間、5日	3	2%
4時間、6日	1	1%
4時間、7日	6	4%
4.5時間、5日	1	1%
5時間、5日	4	3%
5時間、6日	1	1%
5時間、7日	2	1%
5～7時間、7日	1	1%
6時間、5日	1	1%
6時間、6日	1	1%
7時間、5日	1	1%
8時間、6日	1	1%
9～10時間、1～2時間	1	1%
12時間、1日	1	1%

13時間、1時間	1	1%
不定	1	1%
無回答	26	17%
合計	156	

7 オンコールについて

選択肢	回答数	構成比
なし	109	51%
あり	100	47%
無回答	5	2%
合計	214	

ありの場合

月平均 () 回程度	回答数	構成比
0～4回	1	1%
0.5回	1	1%
1回	4	4%
1～2回	4	4%
2回	16	16%
2～3回	1	1%
3回	9	9%
3～4回	2	2%
4回	10	10%
5回	5	5%
6回	4	4%
6～7回	1	1%
7回	1	1%
7～8回	1	1%
8回	3	3%
9回	1	1%
10回	7	7%
13回	1	1%
15回	4	4%
20回	3	3%
30回	4	4%
31回	1	1%
数回	1	1%
毎日 (常に)	5	5%
不定	1	1%
無回答	9	9%
合計	100	

8 宿直について

選択肢	回答数	構成比
元々ない	51	24%
本来ならばあるが免除してもらっている	45	21%
あり	116	54%
無回答	2	1%
合計	214	

免除理由

	回答数	構成比
子供が小さいため（育児）	14	31%
妊娠中	4	9%
高齢のため	3	7%
健康上の理由（病気）	2	4%
研修医のため	2	4%
育児、非常勤	1	2%
女医当直室がない	1	2%
産婦人科の特殊性を理解してもらえたため	1	2%
夫が緊急呼び出しを受けた際対応できない	1	2%
夫が脳神経外科であてにならないから	1	2%
宿直中に子供を見てもらえる人がいないことが多いため	1	2%
弁当などの準備、金曜夜は塾からの帰り迎えに行く	1	2%
人数が足りているため（ICU当直）	1	2%
日直をしている	1	2%
無回答	11	24%
合計	45	

宿直の月平均

月平均（ ）日程度	回答数	構成比
1回	5	4%
1～2回	4	3%
2回	34	29%
2～3回	3	3%
2.5回	1	1%
3回	17	15%
3～4回	3	3%
3～5回	1	1%
4回	23	20%
4～5回	2	2%
5回	8	7%
6回	7	6%
6～8回	1	1%
7～10回	1	1%
8回	2	2%
9回	1	1%
無回答	3	3%
合計	116	

9 日直について

選択肢	回答数	構成比
元々ない	55	26%
本来ならばあるが免除してもらっている	37	17%
あり	117	55%
無回答	5	2%
合計	214	

免除理由

	回答数	構成比
子供が小さいため（育児）	14	38%
妊娠中	4	11%
健康上の理由（病気）	2	5%
研修医のため	2	5%
育児、非常勤	1	3%
高齢のため	1	3%
週末の日直をすると入院が入り、結局、日直外で入院による病棟業務が生じるため子供と過ごす時間が減るため	1	3%
夫（医師）と別居しており、週末婚状態のため。職場の配慮から。	1	3%
人数が足りているため（ICU当直）	1	3%
産婦人科の特殊性を理解してもらえたため	1	3%
無回答	9	24%
合計	37	

日直の月平均

月平均（ ）日程度	回答数	構成比
0～1回	4	3%
0.5回	1	1%
1回	67	57%
1～2回	6	5%
2回	31	26%
3回	2	2%
3回～	1	1%
4回	1	1%
無回答	4	3%
合計	117	

10 産休・育休について

選択肢	回答数	構成比
出産経験がないため取得したことはない	131	61%
出産経験があるが取得したことはない（出産のために退職した）	25	12%
取得したことがある	56	26%
無回答	2	1%
合計	214	

○取得しなかった理由

選択肢	回答数	構成比
勤務先に制度自体がなかった	4	15%
取得しづらい雰囲気だった	6	22%
その他	12	44%
無回答	5	19%
合計	27	

その他

転居が必要だったので一旦退職
夫の転勤と重なったため
たまたま夫の遠隔地勤務のため仕事を辞めていた
休み中も勤務先へ年金などを支払う必要があり、退職した方が有利かと思って。
出産時は非常勤や大学院生であり、出産前後併せて4週ほど休んだが、制度としてなかった。
取得しなくても何とかできた
2回の出産があるが、1回は大学院生時、1回は非常勤時であり、大学無報酬ルーチンは産前6週、産後8週免除でその期間のみ大学を休んでいた
大学院生であり職員ではなかった
学生時代に出産したので
出産時は常勤ではなかったから（2名）
出産時は未就職

回数

	回答数	構成比
1回	36	64%
2回	11	20%
3回	7	13%
4回	1	2%
無回答	1	2%
合計	56	

期間

	回答数	構成比
1か月	1	1%
5週間	1	1%
6週間	1	1%
2か月	2	3%
3か月	2	3%
14週間	1	1%
4か月	1	1%
5か月	3	4%
6か月	6	9%
7か月	3	4%
8か月	3	4%
10か月	2	3%
1年	8	12%
1年半	1	1%
2年	1	1%
産休のみ	11	16%
育休のみ	2	3%
産前1週～産後6週	1	1%
産前4週産後8週以上	1	1%
産前4週産後8週＋育休2か月	1	1%
産前4週産後8週＋育休6か月	1	1%
産前4週～＋育休7か月	1	1%
産前6～8週産後6～8週	1	1%
産前6週～＋育休8か月	1	1%
産前6週～生後1か月	1	1%
産前6週産後8週＋育休1か月	1	1%
産前6週産後8週＋育休2か月	1	1%
産前6週産後8週＋育休1～3か月	1	1%
産前6週産後8週	1	1%
産前8週産後8週	1	1%
産後8週	2	3%
産後12～16週	1	1%
無回答	3	4%
合計	68	

11 仕事の休職・離職について

選択肢	回答数	構成比
休職・離職したことはない	167	78%
休職・離職したことがある	43	20%
無回答	4	2%
合計	214	

回数

	回答数	構成比
1回	27	63%
2回	9	21%
3回	3	7%
4回	1	2%
無回答	3	7%
合計	43	

期間

	回答数	構成比
1か月	1	2%
2か月	1	2%
3か月	3	7%
3～6か月	1	2%
4か月	2	5%
5か月	1	2%
半年	2	5%
半年～1年	1	2%
8か月	1	2%
9か月半	1	2%
1年	10	23%
1年4か月	1	2%
1年5か月	1	2%
1年半	2	5%
2年	3	7%
2年半	1	2%
2年9か月	1	2%
3年	2	5%
4年	1	2%
妊娠中～産後6か月	1	2%
無回答	7	16%
合計	44	

理由

	回答数	構成比
出産・育児	12	25%
夫の転勤、海外留学先に同行	10	21%
健康上の理由	3	6%
技術習得、研修	3	6%
転居	2	4%
結婚	2	4%
子供の病気	1	2%
介護のため	1	2%
実家の理由	1	2%
大学進学	1	2%
人間関係	1	2%
大学病院勤務（医員）のため産休育休が取れなかった	1	2%
つわりがひどく職場に勤務軽減を申し出たら折り合いがつかなかった	1	2%
無回答	9	19%
合計	48	

12 女性医師としての悩みについて(複数回答可)

選択肢	回答数	構成比
特に悩みはない	46	12%
家庭と仕事の両立	112	28%
プライベートの時間が少ない	84	21%
勉強する時間が少ない	65	16%
男性主導社会	24	6%
セクハラ	2	1%
家族の非協力	6	2%
更衣室・当直室など勤務先の施設環境の不備	21	5%
職場の無理解	14	4%
その他	17	4%
無回答	3	1%
合計	394	

その他

男女差別
夫も医師のため勤務先が遠方となり別居になること
ロールモデルが少ない
子育てが難、家族の病気時の対応難
子供が体調を崩した際の不安
保育園の時間が短い、夜間・休日保育がない
妊娠しているが勤務体制をあまり考慮してもらえない
短時間勤務、当直免除などしっかり働けないことで感じる周囲への負い目
結婚後の就職(夫の転勤に伴って働く所がない)
結婚できない、出会いがない
学会本部の理解が乏しい
運動不足、体力が劣っている
自分の老いによる作業能率と集中力の低下

13 勤務先の女性医師に対する不満について

選択肢	回答数	構成比
不満を感じることがある	31	14%
不満を感じることがない	178	83%
無回答	5	2%
合計	214	

不満内容

個人差がありすぎる
女性軽視
同年代、同性への対抗意識が強く、女性間に不協和音が生じる。
同僚独身女性の理解が得られない
女性が働きやすい非常勤の仕組みがない
宿直しない人を批判している姿を見たことがある
同等の勤務でなくても同格扱いがある
仕事も家庭もおろそかにするドクターがいる
プライベート時間の取得に厳しい
結婚や育児を理由に大幅に免除されている場合、しわ寄せが未婚者に来る。
結婚、出産の女医と未経験の女医では対応が異なり、未経験では男性と同様に配慮してもらえない。
時間外業務が当たり前という職場なので、保育園に迎えに行くために早めに抜けるのがとてもストレス。
家庭の事情を優先し過ぎるケース
育児中の女性研修医は残業をしないので17時以降は上級医が交替しなければならない。育休を長期間取る研修医が多く、医師としての知識、技術の向上ができていないのか疑問に思う。
看護師のみ育休が長い。いろんな働き方の形態がある。
条件の違い
限られた時間で求められる仕事が多い
定時に帰宅しにくい雰囲気
更衣室が男性とロッカーで区切られているだけで音や声がまる聞こえ！！
上記の悩みが全く改善されないこと

14 勤務先の男性医師に対する不満について

選択肢	回答数	構成比
不満を感じることもある	39	18%
不満を感じることはない	170	79%
無回答	5	2%
合計	214	

不満内容

女性だからできることは確かにあるが、スキマ産業（マイナー科）に誘導しがち。
能力以上にしぼる傾向があり、人材不足の為仕事に余裕がない。
同格でも男性の昇進の方が早い
もう少し働いてくれたらと思います
もっとしっかりしてほしい
片づけをしない
パワハラ
ボディタッチが多いドクターいる
同僚の女性医師が男性医師から「忙しいので出産しないでくれ」と言われた。
一部心ないことを言う人もいる
プライベートを含め男性の考えについていけない
若い者が自分の時間を主張する
当直、宿直をしない人がいる。
遅くまでいることが当然と考える人がいる
時間外勤務を当たり前と思って押し付けてくることが多い
条件の違い
もう少し子育て中の女性医師に対する配慮がほしい
責任のある仕事はあまり回ってこない。但し、そのような仕事が回ってくると時間内に帰ることができない等のデメリットも出てくるので微妙です。
委員会なども家庭があっても関係なく出席を求められる
女性に対する理解が足りない。子育てしながら働いているという現状を理解せず、男性と同じ条件で扱おうとすること。
あまり理解のない発言を聞くことがある
生理でつらい時分かってもらえない
妊娠中の当直・時間外勤務のつらさに対する無理解。出産後、育児と通常勤務だけでいっぱいになっていた時期に学会への演題提出を迫られたなど。
タラタラ残業して残業手当をもらっている

15 勤務環境について（複数回答可）

選択肢	回答数	構成比
整備されていると感じる	91	39%
整備されていないと感じる	101	43%
無回答	43	18%
合計	235	

○具体的に整備されている内容

選択肢	回答数	構成比
休暇の際に代替医師を確保	22	10%
院内（敷地内）保育所	26	12%
院内（敷地内）病児保育所	35	16%
給料が安い（諸手当等が充実）	8	4%
様々な規則が定められている	7	3%
有給休暇が取りやすい	21	10%
勤務時間の短縮、残業や当直の免除等	54	25%
産休・育休が取りやすい	23	11%
その他	3	1%
無回答	14	7%
合計	213	

その他

女性医師会がある
上司の理解があり、平日の子供の急病での早退、学校行事参加などの数時間のみの中外出がしやすい。
優秀な女医さんが多い為、男女問わず優秀であれば院内で十分評価されるという環境

○具体的に整備してほしい内容

選択肢	回答数	構成比
休暇の際に代替医師を確保	49	19%
院内（敷地内）保育所	29	11%
院内（敷地内）病児保育所	28	11%
給料が安い（諸手当等が充実）	23	9%
様々な規則が定められている	6	2%
有給休暇が取りやすい	42	17%
勤務時間の短縮、残業や当直の免除等	37	15%
産休・育休が取りやすい	29	11%
その他	9	4%
無回答	1	0%
合計	253	

その他

科によってバラツキが大きい
もっといろんな制度があることを知らせる
病児保育の定員不足
院内学童施設
復職があればよいと思います
完全当直制にしてほしい
チーム医療 主治医制
完全主治医制は止め、複数主治医制にしてほしい
オンコールが偏っている

16 石川県女性医師支援センターについて

選択肢	回答数	構成比
よく知っている	23	11%
名前くらいは聞いたことがある	118	55%
知らなかった	72	34%
無回答	1	0%
合計	214	

センターのことを知ったきっかけ

	回答数	構成比
講演会、セミナー	3	12%
担当者にお会いしたから	2	8%
自身がメンターだから	2	8%
学生の時から会合に参加しています	1	4%
学生の時に女性医師の企画（医学展）で実行委員をし、お世話になりました。	1	4%
女性外来、女性医師の会を通じて	1	4%
医師会ホームページ	1	4%
医報等	1	4%
事務局から話を聞いて	1	4%
無回答	12	48%
合計	25	

17 女性医師支援コーディネーターについて

選択肢	回答数	構成比
よく知っている	18	8%
名前くらいは聞いたことがある	79	37%
知らなかった	117	55%
無回答	0	0%
合計	214	

18 女性医師メンターについて

選択肢	回答数	構成比
よく知っている	27	13%
名前くらいは聞いたことがある	64	30%
知らなかった	122	57%
無回答	1	0%
合計	214	

19 その他のご意見

<p>問題がどこにあるのか所在が不明。 研修医であることにあるのか、女性医師であることにあるのか、時代なのか、特にこの病院特有であるのか、自分自身にあるのか。 理解のある科を探して進むしかない。 医師を辞めた女性の気持ちが少し分かるようになった。</p>
<p>メンターや女性医師の会もあるが、入局と同時に各医局に統合されるので、個々の意見として挙がってこない。 女性医師の会が環境改善に貢献していることは周知であるが、新研修医や新入局員の獲得へ効果があるとは統計上言い難いです。</p>
<p>結婚した途端に手当が減った。ひどすぎる。</p>
<p>当直があるにしてもせめて4週4休から4週6休になればと思います。 実際は4週6休の職場のはずだが、「休みを取る方がおかしい」空気が蔓延している状態です。 同様の理由で婚姻休暇も取得しづらく、妊娠した同僚も当直を続けていました。 今後の家庭運営に不安を持って離職する女性医師が発生することはやむを得ないと思います。 男性医師、女性医師ともにきちんと休んで働く土俵が形成されることを願っています。男性医師も披露していると思いますから</p>
<p>お盆や年末年始に預かってくれる所が無く困っている。 ベビーシッターには抵抗がある。</p>
<p>耳鼻科の先生が保育園などに関わって、女医が子育てと仕事を両立できるようにして下さいるので助かります。</p>
<p>家事・育児と仕事の両立は正直疲れる。短時間勤務であるが、全く余裕がない。 1人で全てやることではない。</p>
<p>他科の医師同士の結婚のため、別居や遠距離通勤となるような転勤になってしまうケースが多く、負担が大きいと感じる。また、病院ごとに保育環境も異なり、なかなか働きやすい状況を作ることが難しいため、夫の転勤についていくために職場を変えられない。</p>
<p>今の職場はほとんど男性で、また6か月の研修中（本来の専門分野ではない）のため、また自身が独身のため不満を感じることはありません。（上司も優しいですし） しかし、これを専門（心臓血管外科）にしてやっていくのは不可能と思います。心臓血管外科志望でなくてよかったと思ってしまいます。</p>
<p>女性医師が産休・育休を取りやすい環境雰囲気はまだまだ足りていないと思う。理解してくれる上司がいないと子供を産んで育てながら働くのは難しいと感じる。</p>
<p>女性医師の離職を防ぐには何よりも女性医師のやる気が出る環境作りが大切だと思います。 例えば高い地位についた女性医師は死にもの狂いでその職務を果たそうとするはずで、女性医師を働かせようと思ったらそういう発想が大切だと思います。</p>
<p>研究会等で気軽に子供を預けられる場があると良いのですが。</p>
<p>産後の女性医師の働き方に関しては、人それぞれ仕事に対する比重、家族の援助の比重、能力の差があるので、一概に比較できないと考えています。 そこに不満を言うのではなく、自分が忙しい事は仕方ない(自分しかできない)と思うようにしています。</p>
<p>現在は非常勤医師なので、負担も軽くなった分就労環境への不満は減ったのですが、非常勤になる前の常勤時代に感じていたことは「出産・育児などの理由で休職している女性医師の穴埋めを補って働いた医師（男女問わず）の評価をもっと上げてほしい。（給料に反映するとか昇進も考慮するとか、変わりの休暇を取りやすくするとか）」です。 常勤時代の当時は独身だったせいもありますが、同僚の女性医師の産休・育休の代わりにの代行業を何度もしました（させられました）。そのしわ寄せで体力的にも精神的にもしんどい思いをしたにも関わらず給料も変わらず昇進も産休育休を取った同僚と同じ扱い、人が足りなくても他の医師に迷惑が掛かると思うと気が引けて1日とか半日とか細切れ分割でしか取れず、リフレッシュどころではありません。 もうこれではしわ寄せを受けた医師は全く浮かばれず可哀そうです。 女性医師の中には、頑張っているのに、産休育休を取った女性と平等に扱われることを不平等と感じている女性医師も多いと思います。</p>

独身女医の立場からすると、男女格差よりも家庭を持っている女医との女医間格差を感じます。(家庭を持っている女医が優遇される余り、独身女医がへき地へ人事異動になったりするなど)
そういう意味で、やはりまだ勤務環境は十分整ったことは言い難いと感じます。

宿直参加など本当はもう少し働けたらと思っていますが、いろんな理由で日中の保育所利用しかできておらず、いろいろ免除していただけて助かっていますが、周囲が忙しそうに働いているのを見ると、とても申し訳ない気がしています。
子供が小さいうちは仕方がないかなとあきらめ半分ですが。

女性医師支援センターという名前は聞くが、活動内容もほとんど知らないし、アンケートをよく書くが、還元された事なく、何も自分達の環境は変わっていない。
もっとアンケートだけでなく、行動に移してほしい。子供のいる女医さんが少しでも雑用の仕事とかじゃなく、意味ある仕事ができるようにしてほしいです。

出産するまでは男性同様に働けるが、出産後は子供のこともあり、出来る仕事内容と出来ない仕事内容がある。自分が産休に入る頃と明けた頃には理解がなく、不安が強く辞めたいと思うことが多かった。今も先々のことを考えると不安になる。

人手不足の現状で、環境整備について考えること自体現実にはそぐわない。

当直室が男性と同じ部屋なのが嫌です。

病児保育があるといっても実際使用できない。いっぱい断られる。手続きが面倒。
病院の者が使えない「たんぽぽルーム」なんて施設のムダ使い。もっと門戸を開くべき。あるだけムダなので止めればいいのと思う。

院内保育所はあるが、定員が少なくパート勤務時の一時預かりもほぼ受入不可。

大学の基礎の教室に所属しており、日当直、オンコールなどの必要がないため、比較的工作がしやすいと思います。勤務時間もやや長く、自宅持ち帰りの仕事も多いですが、自分で時間のやりくりができるので、助かります。
女性医師の職場として基礎医学の教室はお勧めできると思います。

実際に自分が妊娠し、勤務体制や今後の働き方で相談したいことが多々ありますが、どのようにして問い合わせたらよいのか、その方法が分からないので、もっともっと支援センターにアクセスしやすくしてほしいです。

所属病院、所属科により条件がかなり違うのでアンケートの解釈も難しいと思います。
結果を楽しみにしていますので、ご苦勞ですが、調査結果のまとめよろしくお願い申し上げます。

メンターをすることが大きな負担になっている。

たまたま理解のある病院で産休育休を取得でき復帰できましたが、整備されている病院はごく少数であり、今後もっと増えることを希望します。
現在、時短勤務可能な病院ですが、これもどの病院も対応してもらえるわけではなく、可能な病院が増えればと思います。

日頃より様々なご支援、ご理解を下さりありがとうございます。
現在に限らず、女性に限らず、様々な理由により、規定の枠を外れた仕事の仕方を求めている人はいると思います。
しかし、最近注目されている「女性医師の働き方？」について考える際、学会でも医師会でもいかに未婚の時と同様に、子育てしていない時と同様に働くか、女性は皆それを望んでおり、また望むべきであり、そのためにどうすればよいかというような視点から考えているように思います。
片手間にいい加減に仕事をしようとは全く考えていませんが、家庭を持ちながらいかに限られた時間だけでも仕事に関わりを続け、そして家庭が一段落した後にはまた仕事に多いの時間を費やそうと考えている女性医師も多くいること、その考え方の良し悪しに関わらず、その現状を知って欲しい。
女性全体として考えると、仕事優先と家庭優先と全く別の考え方の人達(大きく分けると)がいるという大前提。
良い悪いではなく、その大前提を前に色々な支援に取り組んでいただけると、より多くの女性が働けるのではないのでしょうか。

核家族、共働きの子育て家族には女性医師だけの支援ではなく男性への支援も必要だと思います。

先輩達を見て来ても結婚、出産後仕事を継続することが困難。特にオンコールが対応できないことで差別を受けている。プライベート時間が無く、なかなか結婚自体をすることも困難。

女医の勤務環境改善・待遇改善が男性医師の相対的環境・待遇悪化に繋がらないよう、男女含め医師全体の環境・待遇改善ができればよいと思います。
現在、一戦で活躍されている臨床の女医さんは、医師として優秀な能力を持ちつつ、豊かな人間性や奉仕・心を持ち、厳しい環境の中、努力されてこられた先生が多いように感じます。支援を受ける側の若い女医さん達にもこのような志を持って頂けたら、さらに女医さんが活躍できる環境が整うのではないかと思います。

昨年10月に院内組織図に緩和ケア科として載せてもらいましたが、一人医長であり、365日オンコール状態です。緩和ケアはチーム医療ですが、チームとして成立していません。緩和ケアの普及活動をしなければならないと思っていますが、年齢的に体力も知力も低下しており、思うように活動できません。
地域柄、独居や老老介護の方々が多く、一度入院すると在宅に戻ることは困難となってしまいます。
地域の開業医の先生方と連携を取ながらダブル主治医制が取ればよいなと思っています。

結婚に伴い（現在婚約中）、夫（医師）の医局人事によっては夫について行っても働ける所がない。
非常勤でも良いので、家庭と両立できる職場を求めているのだが、ほとんどの非常勤を要している医院では大学医局からの派遣ばかりであり、医局を離れた女医にとっては働くところがなく、現在、仕事を続けることをあきらめようかとも考えている。また、大学医局に残籍したところで、夫の勤務先と同地域にしてもらうことは難しいと思うため、悩んでいます。
医師不足と言われているが、石川県では大学医局での縛りが強いので自由には職場を探せず残念です。

女性医師に対する当直免除、時間外勤務などの対応は、科によっても異なる。特にマイナー系の科では、医師が少ないため代替医師を確保しづらく、休暇も取りにくいのが現状。
また、同僚の男性医師の女性医師への理解度によっても対応が異なり、考え方もバラバラであり、支援を得るのは難しいと思う。

日々の仕事に精一杯で漠然とした不安はあるものの、将来の展望、対策は立てられていない。
北陸は狭い社会なので、都会のようにメンター制度は普及しない気がします。

一般的な企業でもそうですが、若い女性の社会参加増加と同じように女性医師が増加している割に環境整備がどこの病院でも遅れているように思います。
大学病院のように多数スタッフのいるところは良いですが、一般病院では一人勤務など多く、気もまわしてもらえてないのでは？
卒業する前勧誘する時、おばあちゃんの必要性など教えてもらいもしませんでした。
子育ては後から補正できないもの。仕事より子育てを優先してしまうのが人情だと思います。